

令和 8 年 1 月 9 日 開 会

令和 7 年度第10回教育委員会定例会会議録

垂水市教育委員会

## 令和7年度 第10回教育委員会定例会

### 日時、場所及び出席者

日時及び場所	出席者	
令和8年1月9日(金)	教育長 明石 浩久	教育総務課長 小池 康之
午後2時	教育委員 吉富 和夫	学校教育課長 川崎 史明
↓		
午後3時10分	教育委員 葛迫 幸平	社会教育課長 大迫 隆男
第2研修室	教育委員 田之上 厚美	
	教育委員 福里 由加	

### 会議要旨

#### 1 開会

定刻、定足数に達しており、令和7年度第10回教育委員会定例会を開会した。

#### 2 前回会議録の承認について

令和7年度第9回教育委員会定例会の会議録について、承認する旨、教育長から発議があり、全会一致で議決された。

#### 3 議事

報告第1号 垂水市教育委員会事務局職員の令和8年1月1日付け人事異動について

#### 4 その他

#### 5 動議の討論等

#### 6 委員並びに教育長及び課長報告

#### 7 閉会

## 議 決 事 項

件 名	提案等理由	審議の状況	採決の次第
報告第1号 垂水市教育委員会事務局職員の令和8年1月1日付け人事異動について	令和8年1月1日付け人事異動を報告するもの。		

## 議 事 内 容 等

<p><b>3 議 事</b></p> <p>教育総務課長</p>	<p>報告第1号 垂水市教育委員会事務局職員の令和8年1月1日付け人事異動について (資料に基づき説明)</p>
<p><b>4 その他</b></p> <p>教育総務課長</p>	<p>令和7年第3回垂水市議会定例会における一般質問等について(報告) (教育委員会関係分を資料に沿って説明)</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>子どもには休息の権利についてですが、不登校児のケアのための介護休暇の対象となる要件について、それから、いわゆるネット出席制度、インターネット等を通して学んだ子供たちが、出席として認定できるかというところでした。</p> <p>まず、不登校児のケアも介護休業の対象となり得るのかについては、最近の制度改正によりなり得る場合が多くなってきたと考えております。育児介護休業法で示されているものです。その場合、不登校だからということだけで、介護休業の対象となるのではなくて、2週間以上の期間にわたり、常時、介護が必要な状態であるというような要件等で、介護休業として認められるケースがあるというところですので。そこを認定するのは、保護者が勤めている職場が、その制度について、認めるかどうかという判断になりますので、保護者の方が、それぞれの勤務先にご相談をしていただく必要がありますということで、お答えをしたところでございます。</p> <p>ネット出席制度につきましては、公的には、ICTを活用した学習活動を行った場合の出席の取り扱いということになります。質問されたのは、この制度の周知があまりなされていないのではということでした。教育委員会といたしましては、垂水中央中学校の校内教育支援センターやサテライト教室に通う生徒の保護者等につきまして、面談を行いますので、そういうときに周知をしておりますが、今後、丁寧に説明をしていきたいということでお答えしたところでございます。</p>
<p>福里委員</p>	<p>「夢のつばさ」事業の再開について、学校からは何も連絡はないのですが、なくなったと聞いているのですが。</p>

学校教育課長	夢の翼について、それはおそらく、台湾への修学旅行がないということだと思います。夏頃、中学校1年生の保護者を対象に、台湾への修学旅行に関して、賛成かどうかというアンケートを実施したので、そのことではないかと思います。
福里委員	修学旅行の説明はあったんですが、修学旅行ではないということですか。
学校教育課長	アンケート結果として、おおむね3分の1程度の保護者が、積極的に台湾への修学旅行等、何か機会があったら、行きたいという回答でした。残りの保護者の方は、やはり、ちょっと心配な点もあるなというようなところで、教育委員会としては、修学旅行としては、ちょっと難しいということで、夢の翼の方で台湾は行かせていただき、その説明につきましては、新年度4月以降に、募集をしたいと考えているところですので、まだ学校に周知してないところです。
福里委員	子供たちは行きたいみたいですね。
教育長	県教育長からの通知で、修学旅行については、9割以上の子供の参加をもって実施するというのがございます。これは、コロナ禍で参加しない状況が増えて、9割を下回る場合は実施できないということを再確認する機会となりました。それにより修学旅行での実施は難しいとなっているところです。
田之上委員	市立図書館を市民の居場所としての利活用という質問についてお願いします。
大迫課長	この質問につきましては、市立図書館にWi-Fi環境の整備を行ってもらえないかというような内容でした。まず、これまでの取組を説明したところです。平成24年度に学習スペースの増設、令和6年度から、昼食場所として、2階の会議室で食事ができるように解放していることをお答えいたしました。また、今後、パソコンやタブレットを持ち込めるよう、Wi-Fi環境の整備についても、調査研究してまいりますというようなことでお答えしたところです。
田之上委員	質問からは、もう少し違う要望・意見だったのかなというふうに読み取ったところで、もっとこう、市民の方や子供たちが、図書館で本を借りるとか、本を読みに行く以外にも、図書館の中に居場所がほしいということかなと受けたところでした。
葛迫委員	Wi-Fi環境のことで、市民館や市役所等、公共的な場所というのは使えますとあるのですが、なかなか使えないというのか、安全性が心配だったり、メールアドレスの登録等いろんなケースがありますよね。
葛迫委員	先ほどの、ネット出席制度について、中学校の場合、中間や期末テストで、欠席した子供たちはどうなのでしょう。改めてまた試験があるのでしょうか。
教育長	後日、登校したときテストを受けて、点数をつけて返しますが、後日行った試験なので、こういう点数でしたということ、聞かれましたら、平均はこれぐらいで、子供さんの方もこの点数だったら、大体これぐらいの位置にいますよと回答することになるようです。

葛迫委員	不登校の子供たちが多いとなると、テストに参加しない子供たちが多くなるのか、それともテストのときは登校してくるんですか。
学校教育課長	学校からは、普段、なかなか来れていない子供もテストは参加をしているようです。やはり、高校進学等、中学校の時は不登校だけでも、ここに行きたいという、何かチャレンジしたいということはあるのかなと思っているところです。
葛迫委員	サテライト教室は、常時、先生たちがいるんですか。
学校教育課長	今年度開設したのですが、専門の支援員を1人つけています。3つのサテライト教室は同時に開くことはできませんので、月曜日の午前と木曜日の午後等、組合せて開設していますので、サテライト教室を回ってサポートしています。 その支援員が行けない時にはサテライト教室は開けないということになります。
教育長	学校に来れなかった子供がそこには行って、一緒にお話をするだけでも、全然違うと思います。今後、支援員1人を2人と予算要求して、それが認められたら、さらに充実していくのかなというところです。
<b>5 動議の討論等</b>	
吉富委員	ネット上で校内の生徒の暴力がアップされ問題になっておりますが、都市部の学校だと思いますが、地方において、そういう心配はないのでしょうか。
学校教育課長	今回の問題というのは、2つポイントだと思っております。1つは、校内での暴力、もう1つは、それをネット上にアップする、撮るということだと思っております。 1つ目の校内での暴力につきましては、これまでも生徒指導を行ってきております。例えば、小学生、中学生の喧嘩の中で、エスカレートしていったというのは、ないわけではないです。これは、いつの時代になっても、多分なくなることはないと思うのですが、それが、いじめなのか、それともただの喧嘩なのかで、とらえ方が違うと思います。いじめによって暴力に繋がっているケースというのは、ここ数年、学校教育課では把握はしておりません 2つ目のポイントは、録画してネットにアップするということは、垂水の学校ではできないと思います。携帯電話が、一番小さな録画機器ですが、これは学校へ持ち込みはできないようになっていきますので、自分の機器で取るということはないです。あるとすれば、自分たちが持っているタブレット端末というのは考えられなくはないですが、それで撮影すれば、誰もが撮影してる様子を見ておりますので、すぐにそのことがわかり、学校の指導対象になりますので、そういうことは行われていないと考えているところです。 今回の他県での問題につきましては、多分、自分たちの持っているスマートフォン、これを使って録画をしているものだと思いますが、暴力をしている子供は、録画できないわけですので、暴力をしてる子供がいて、それ面白がって撮ってる子供がいるということが問題ですので、こういうことは、絶対にあってはいけないことだと考えております。

教育長	もちろん、ゼロではないですので、心配な面は本市でもあるので、そういうことがないようにきちんと指導していかなければならない、そのための情報活用能力の育成でも考えております。
教育長	前回の動議の討論での、まなびポケットによる行事のお知らせの在り方について、学校教育課長からお願いします。
学校教育課長	<p>行事等のお知らせについてですが、12月に教頭研修会がございましたので、改めてお願いをいたしました。メールだけではなくて、保護者の方々にきちんと伝えたい、来ていただきたい行事等につきましては、メール以外でも、例えば、週報等で一言お知らせする等、複数の方法でお知らせをしてくださいということで依頼をしたところですが、</p> <p>また、インフルエンザ等の感染症が一気に広がり、判断が遅いのではないかと、というご意見だったのですが、非常に学校も悩むところでございます。どういう状態のときに、広がりつつあるのか、あるいは、前日のまま抑えられているのかということ等、判断をするというのは非常に難しいところがありますので、保護者によっては、ちょっと遅いんじゃないかと思われるところがあるかもしれません。学校といたしましては、できるだけ早く情報収集し、それをもとに校医さんと連携をはじめ、教育委員会とも連携を図りながら、判断をしていきたいということで、改めて学校とは、確認をしたところでございます。教育委員会といたしましては、各学校のインフルエンザやコロナ等の流感について、把握するシステムを持っておりますので、保健担当の指導主事が、これらが流行ってる時期は、毎日数回、そのシステムを使って確認をしております。増えてきたなという学校には、教育委員会の方からどういう状況ですかということを知ったり、場合によっては、こうしてくださいという指示を出したりしていますので、引き続き、学校と教育委員会が連携を取りながら、子供たちへの感染防止について、また、保護者の方々にも速やかに判断が行き渡るように、工夫してまいりたいと考えているところでございます。</p>
教育長	学級閉鎖につきましては、当日の朝、欠席者数や治りつつある子供のバランス等も見ながら、校医さんと相談しながらということになりますが、流行の兆しや流行し始めましたというのはお知らせできるかと思うので、早めの連絡を学校にお願いしたいと思います。
6 委員並びに教育長及び課長報告	委員並びに教育長及び課長報告に入る。
葛迫委員	<p>昨年末、12月27日に真宗大谷派の眞宗寺本堂で、「美術ってなに？」のタイトルで、特別研究発表会が開催されましたので参加しました。終原地区にある眞宗寺は、以前に教育委員をされていた中谷さんのご主人が住職として頑張っているお寺です。夏休みなどの長期休暇に入ると本堂を開放し、寺小屋など様々な活動を通じて子供たちの居場所づくりに取り組んでいらっしゃいます。今回、次男である中谷朋生さんが、自身の研究と思索の成果をお話しすることで、ぜひ聞いてみたいとの思惑で参加しました。中谷朋生さんは、関西大学の大学院から、大阪府和泉市の生涯学習課の久保惣記念美術館の学芸員とい</p>

う肩書で勤務されています。今回のテーマは、大学院の修士論文で扱った「織部焼」を取り上げながら、久保惣記念美術館の概要から「美術」を考えてみようというねらいがみえてくる発表会でした。焼き物の成り立ちや種類、歴史といったカテゴリーから説明され「美術」とは何だろうという研究会に参加者全員が、固唾をのみながら聞き入っていました。今回のテーマの大きな着地点は、利休の「茶の湯」から、「主張しない器」や「侘び」、「不完全性」などといった利休の美意識から考える「美術や美学」を参加者に説明していました。美術とは「こういうものだ」と説明していました。安土桃山時代に利休の「茶の湯」が武士の世界を中心に席卷していくのですが、利休の「侘び」と豊臣秀吉の豪華絢爛の「絢爛」の違いをもう少し時間があれば、お聞きしたかったと私見ですが思いました。また、今年のNHKの大河ドラマでは「豊臣兄弟」が始まりましたが、そのことを考えての発表会と考えれば、素晴らしくウィットに富んだ特別研究発表会だったのではと思います。

福里委員

冬休みも終わり、3学期がスタートしました。幼稚園も1月5日からの新学期がスタートしました。インフルエンザは流行ってはいませんが、体調不良の子がいて、全員でのスタートはできませんでした。ほとんどの子供が元気よく登園してきて、冬休み中にインフルエンザに感染したという子は何人かいたようでした。

普段から、昔からのならわしや行事を大切に保育しているのですが、昨日は、年中・年長クラスの子供たちが色画用紙でお重箱を作って、それにおせち料理の品物、食品も作って、これには、こういう理由があつたと、海老はどうとか等、お話をしました。お重箱というのを、今の子たちはあまり見たことがないというか、運動会の時は、みんな広げて、お重箱をするものだったのですが、弁当箱の大きなものを見たことがないので、すごくびっくりしていたようでした。1つ1つ、その食材に意味があるんだよっていうふうにして、これ食べたことあるかと尋ねたら、大体何品かはあるんですが、全部は食べたことないということでした。このような、昔からある行事や習わしを大切にしていかなければならないなと思いました。

教育長

垂水校区の合同七草祭が開催され出席したところでした。43人程の子供たちが参加しており、色とりどりの着物を身につけていました。このような催しが行われることが、すごくいいなと思いました。この43人の子供たちが、元気で健康で育ってほしいと感じたところでした。

田之上委員

冬休みが始まってからも、多くの子供たちが児童クラブにやってきました。かばんもおろさずに、「サンタさんからプレゼントがきたよ。」、「一番欲しいものだった。」、「一番じゃなかったけどうれしかった。」、「サンタさんとお父さんからもらった」など、ひとしきりおしゃべりした後、子供たち同士で、もらったプレゼントで盛り上がっていました。子供たちが幸せでいるって、周りの私たちにとってもうれしいことだと改めて思うことでした。

穏やかな年末年始を過ごして、明けて1月5日は「二十歳のつどい」に出席しました。晴れ着姿の二十歳を迎えた皆さんが友達との再会にとっても嬉しそうでした。3人の代表の方が主張をしてくれましたが、それぞれが悩みを抱えながらも、夢に向かって自分らしく、頑張っていることを堂々と話していました。心に残ったフレーズが、「産んでくれてありがとう」、「誰かを支えられる大人になりたい」、「学び続ける大人になりたい」など、素晴らしい発表してくれました。コロナ禍の真っ只中を過ごした彼らは、工夫しながらも、楽しく成長していました。

また、今朝のことだったのですが、先ほどお重箱の話が出たのですが、中学校

	<p>の朝の挨拶運動のときに、門松をボランティアの方が作ってくださったようで、作られた方が、門松にも1つ1つ云われがあるんだよ。ということをお子たちにちゃんと話したらよかったなということをお話していらっしやいました。自分たちがもっと勉強しないとイケないと思うところでした。</p>
吉富委員	<p>12月16日に開催された学校の在り方検討委員会において、答申書案が提示されました。基本目標として、「将来の担い手となる子供たちにとって、よりよい学びの場となるよう検討をすすめる。検討にあたっては、当事者である子供と保護者の意見を大切にする」との主旨が示されました。事前に提出された委員からのアンケートの中で、「児童数が多い学校に通わせるために、小規模の小学校区から引っ越しをされた家庭もあった。児童数の多い学校に通学できるとなれば、地域に留まるようになるかもしれない。」や「小規模校のままだと垂水から提出する判断材料にもなってしまう。」との意見がありました。引っ越しをされた児童の学習環境のことを考えてのことではあると思いますが、小規模校となると、PTA活動についても、やはり一人一人の保護者の負担も大きくなることも否めないと思います。児童数、世帯数が減少している現在にあつては、PTA活動、PTAの専門部の統合や活動自体や、活動内容の見直しも必要かと考えます。学校側から提案があると、保護者も助かるのかなと思います。</p> <p>次に、1月5日の「二十歳のつどい」を参観いたしました。二十歳の主張では、進路の希望はまだですが、しっかり学んで将来に役立てていきたいという学生や、社会科の教師を目指して頑張っている学生、また、母親にいろいろと心配をさせ、母親一人手で育てていただいたという、母親への感謝の言葉を述べる青年と、3人登壇されました。堂々とした発表に胸を熱くすることでした。準備等に当たられました実行委員の方や市当局の皆様へ感謝いたします。</p> <p>その他、12月19日に、垂水中央中の教頭先生から、3年生の家庭科で、幼児と触れ合う内容の授業の提案がありました。近隣の保育園として園児が招待され、手づくりのおもちゃで遊ばせていただきました。生徒さんたちは皆、優しく接していただき、園児も楽しく過ごすことができました。おもちゃのお土産もいただき、園児は大変満足した様子でした。単元の学習内容を具体的に実践された垂水中央中学校の先生方にお礼を述べさせていただきます。今後も幼・小・中・高の連携が図られ、子供たちが交流できる環境が整うことを期待いたします。学年や世代の縦つながりの活動を通して、弱者を思いやる心を育て、道徳的規範の醸成にもつながるのかなと思っております。</p>
教育長	<p>家庭科での幼児との触れ合いは、学習指導要領にもきちんと示されていて、以前からご協力をいただいているところです。今後ともよろしく申し上げます。</p>
教育長	<p>12月21日日曜日の朝、牛根地区公民館で開催された餅つき大会に初めて参加しました。大人用と子供用の臼と杵がそれぞれ準備され、多くの皆さんが集まっていたら良かったです。自分自身の記憶をたどると、中学生の頃までは、近所のお宅に数件集まって、一緒に餅つきをしていたことを思い出しました。お餅はもちろんですけど、蒸し上がったもち米がおいしくて、パクパク食べてたら、餅をついたからと怒られた記憶もあります。おそらく、それ以来なので、約50年ぶりに一臼つかせてもらいました。その焼いたお餅もいただきましたが、本当に美味しいお餅でした。良い年を迎えられると、ありがたく思うことでした。こうして、地域で集まって餅つき大会を行うというところは、もう少なくなっていると感じますので、二川</p>

	<p>地区の結びつきの強さを感じましたし、地域行事への子供の参加であったり、地域の皆さんの思いであったり、学校の在り方についても、本当に丁寧に進めていかなければいけないと思うことでした。</p> <p>次に、後ほど、学校教育課長から詳細な報告がございますが、12月23日の夜に大きなクリスマスプレゼントがありました。第8回日本ICT教育アワードにおいて、最高賞である「文部科学大臣賞」を本市が受賞いたしました。坂元前教育長の思い、そして学校教育課長、学校教育係長、指導主事の真摯な取り組み、各小・中学校の実践が花開いて、とてもうれしく思うことでした。本市と比べて、予算のスケールも桁違いで教育DXを推進している自治体はいくつもあるのですが、垂水らしさというのを評価していただいて、一等賞をいただけたのが、とても嬉しく、何よりの喜びでした。</p> <p>新しい年が明けました。毎年、元旦に近所の菅原神社で初詣をします。今年は、ピンクや青いのぼり旗がたくさん立ち、参道がとっても賑やかで明るい気持ちにしてもらいました。今年も平坦な道ばかりではないと思いますが、子供たちや学校、市民の皆様のために仕事を進めていきたいと思えます。</p> <p>教育委員会にとりましても、充実した1年となりますよう、委員の皆様には、今年もどうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>教育総務課長 学校教育課長 社会教育課長</p>	<p>12月16日から1月9日までの主な行事等について各課長が報告。併せて、1月10日から2月10日までの行事予定についてお知らせした。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>先ほど教育長からもございましたが、日本ICT教育アワードにつきまして、紹介させていただきたいと思えます。GIGAスクールを推進している全国の自治体にとって、非常に敬意ある審査会と考えているのが、この日本ICT教育アワードでございます。令和4年度、令和6年度の2回、全国で上から5番目の賞となる会長賞をいただいております。今回、応募するにあたり、教育長から、垂水らしさをもう少し全面的に押し出したらどうか、というような助言をいただき、資料の方を作成したところでございます。結果としては、一番上となる、文部科学大臣賞をいただいたところです。評価のポイントといたしまして、市長部局と市教育委員会の連携があること、研究内容として、垂水らしさである小学校1年から中学校3年生までの9年間を通した研究実践を行っている点であり、さらに、ふるさと垂水という、総合的な学習の時間を使って、探求的な学びにつなげていこうというところが、垂水らしさということで、評価をしていただいたのかなと思っております。2月3日に表彰式が東京であり、市長、教育長、これをまとめてくれた指導主事が参加を予定でございます。</p> <p>もう1つ、お知らせです。柘原小学校の松尾仁志教諭が、1月1日付で、教頭として、いちき串木野市立照島小学校という単式学級の大きな学校に、赴任することとなりました。なお、後任には、12月まで、垂水小学校に代替で勤務していた中村由貴教諭が後任として配属されることとなりました。</p>
<p>葛迫委員</p>	<p>毎年、垂水街角美術館では、和田英作・香苗記念絵画コンクールが終了後、優秀な作品を展示しているのですが、今年も街角美術館で展示しています。これまでは、垂水市、鹿屋市、大隅半島を中心とした作家の作品を展示していたのですが、今回は県外の方々が多かったことから、県外の方の作品も展示しております。素晴らしい作品を展示しておりますので、皆さんがちょっと立寄れる場</p>

## 7 閉会

所、八木酒店や井之上電機であるとか、市役所、市民館、図書館のギャラリー等に展示されていますので、見に行っていたらありがたいと思います。